

特集

Uターン 田舎に還ろう

農業で就職？ それとも、農業で起業？
～農業への情熱を支援する国の施策～

熱く盛り上がった議論の行方は？

「地元に戻る帰らない会議」

in 移住・交流情報ガーデン



ここから始まるI・J・Uターン

経営者としてのはじめの一步は ソリマチの農業簿記

独立や新規就農、はじめての経営「ドキドキ、ワクワク」
夢にあふれた担い手のみなさんを、ソリマチは応援しています



経営の要は帳簿を正しく付けることから。

ソリマチの農業簿記なら、はじめての方でも
らくらく記帳、かんたん決算。

農家の皆様と共に29年、
愛される理由がここにあります。

農業簿記9

農業経営を支える充実のラインナップ

ソリマチでは、農業経営を支える様々なソフトを取り揃えています



農業日誌V6
作業管理・栽培日誌



ファーマーズオフィス
「農業簿記」&「農業日誌」



給料王^{T6}
給与計算ソフト



販売王^{T6}
販売管理ソフト

02 コラム 農園歳時記 第25回 身を任せる 中村顕治

03 特集① Uターン 田舎に還ろう

04 農業 農業を否定する人生から一転 理想の米作りを追求 表紙

滋賀県長浜市 吉田道明さん

06 林業 都会の営業マンから林業へ ストレスフリーで日々充実

栃木県鹿沼市 牧島正幸さん

08 漁業 外の世界を見たからできる! 新しい漁業を創造する変革者

宮城県石巻市 阿部勝太さん

10 特集付録 農業で就職? それとも、農業で起業?

～農業への情熱を支援する国の施策～

12 特集② 「地元に戻る帰らない会議」 in 移住・交流情報ガーデン

18 I・J・Uターン農林漁業就業相談窓口

広告

ソリマチ株式会社

14 日本農業技術検定のご案内

15 有限会社竹内園芸/高知県

16 長野県飯田市/タキイ研究農場付属園芸専門学校

17 秋田県能代市/公益社団法人新潟県農林公社 青年農業者等育成センター

長野県長野市/岡山県新規就農相談センター

株式会社日本政策金融公庫

iju info (イジュウ インフォ)

●配布場所

都道府県農業会議、青年農業者等育成センター、林業労働力確保支援センター、漁業就業者確保育成センター、ハローワーク、ジョブカフェ、農林漁業関係学校、図書館、東京都内の駅の一部など全国4,000カ所

IJU

検索

雑誌オンライン

検索

特集

地元に戻り農林漁業に就業した
3人の「Uターンストーリー」

Uターン

田舎に還ろう



阿部 勝太さん



牧島 正幸さん



吉田 道明さん

政府が地方創生に力を入れる中で、都市住民に地方移住への関心が高まっている。まったく知らない土地へ向かうUターン、地方の中核都市へ戻るJターン。そして、生まれ育った故郷へと戻る「Uターン」。

本誌では、新たな土地を目指す若者たちを支援するため、これまでUターンの事例紹介に力を入れてきたが、今回あえてUターンの事例に着目してみた。

「田舎に還ろう」。東日本大震災の傷あとが癒えていない東北だけではなく、日本全国が過疎と高齢化に苦しんでいる。

祖父母の待つ「田舎」へ、思い切って帰る。そんな若者たちの背中を少しだけ押しあげたい。

都会に描いた夢や希望。そこで学んだことや貴重な経験を田舎の生活に活かしてほしい。元気がある先輩たちの取り組みを紹介する。





稲の生育状況をチェック。「農業とは作業ではなく生き方」と語る吉田さんの眼差しは熱い。

農業を否定する人生から一転 理想の米作りを追求

滋賀県長浜市 吉田農園 吉田道明 さん(47歳) 農業歴17年



様々な経験を積んで分かる
自分が本当にやるべきこと

「都会に憧れて、18歳の頃に大阪へ飛び出しました。カメラマンになるため、写真の専門学校に通って」。

『日本書紀』にも登場する霊峰・息吹山を背景に、約40ヘクタールの水田が広がる吉田農園。その中で笑う吉田さんが地元でUターンし、農業を始めたのは30歳の時だ。学校を卒業後、大阪の写真スタジオに勤めるが、結婚を機に転職を決断。より安定した暮らしを求めて、親族からの紹介を受けて飲食業界へと進んだ。

「滋賀県長浜市にある和食料理店の店長になりました。年商1億円を超えるお店でしたから、従業員もたくさんいて。調理から仕入れ、接客等、何でもやって。我武者羅に働いていました」。

食への関心を深めていく中、ある環境問題の講演会への参加をきっかけに、食の安全について思いを巡らせることに。

**安全でおいしいお米を目指して
「農家」を継ぐことを決心**

「実家は農家でしたが、親父は忙しくて構ってくれなかった。家は貧乏だし。農業なんて...と思っていました」。

しかし、高齢となった吉田さんの父親が、農家を辞めようと考えていることを知り心境は一変。

「父が営んできた5ヘクタールの農場を失くすのはもったいないという気持ちが湧いて。たくさん収穫できるように育てられた米と、消費者が食べたいおいしい米。そのギャップを埋めれば、商売と



EM（有用微生物群）菌を培養する容器。ハウスの温度を40度に保ち、2～3週間。美味しい米作りに欠かせない立役者だ。

三川町に根付く吉田農園。米以外にも、ブロッコリー等の各種野菜や“かきもち”等の加工品作りにも取り組んでいる。



ポットで大切に育てられる稲。こうすることで1本1本が太くなり、農薬に頼らなくても成長する強い稲となる。



トラクターの先端に括り付けてあるのは、EM菌を自動で撒くための自作装置。



「長寿米」。吉田さんが理想の米作りを目指す中、最初に作られた看板商品だ。



18歳 憧れの都会暮らしスタート

都会でカメラマンになるという夢を叶えるため、大阪の写真専門学校へ入学。2年間の学生生活が始まる。憧れの都会暮らしが実現するが、すぐに資金が底をつき、アルバイトに明け暮れる日々。

25歳 安定した暮らしを求め一度目の大きな転機

カメラマンを辞め、飲食業界へ。店長として、和食料理店のすべてを取り仕切ることに。

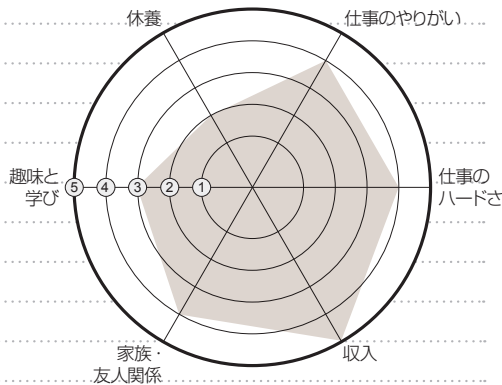
30歳 始めは些細な疑問から“食”の原点をたどって

食への造詣を深め、安心・安全なお米を探る中で自分が求めるお米が無いことに気付く。同時期に実父が農業を辞めようとしていることを知り、農業に気持ちが傾いていき、就農を決意する。

Interview

現在は家族と過ごす時間がもっとも大切です

農業が「軌道に乗ってきた」のは、40歳を超えてから。就農してから10年間は、それこそ農業にしがみ付いて、もがいている感じでした。時間さえあれば農業のイベントや勉強会に参加し、寝ても覚めても農業でした。米作りは、バツと良くなったり、バツと収穫量が増えたりということではなく、辛抱しつつ、改善していくものですから。近頃になって家族と過ごせる時間も持てるようになりました。子どもが生まれてからは子ども中心の生活ですね。いつか子どもが手を離れる時がきたら、家族で旅行にでも行きたいですね。アメリカの農村部など、人が多くないところでゆっくり過ごしたいです。



「親父とは違うアプローチだったんで、最初は衝突しました。それでも理想を追求するため、青年農業者クラブに所属して仲間のもとに習いに行き、有機稲作研究所の勉強会に参加したり」。

試行錯誤は農舎やトラクター、コンバイン等の新調にも及び、就農1年目の借金は2000万円を超えた。

「理想は、食べるほど健康になれるような米。その願いを込めた『長寿米』は、2006年に『全国米・食味分析鑑定コンクール』で金賞を受賞することができ、自信を持つことができました」。

農業に必死で取り組んだ10年だった。「憧れの都会暮らしを経験したからこそ、田舎に腰を据えることができたと思います。今では3人の社員を雇うようになっています。彼らをまとめるには、店長時代の経験が活きています。最近ではホームページ作りにも力を入れています。写真の腕が活かされたりと、30年違う道を歩いてきましたが、それは無駄ではなかった」。

若い人の指標となる生き方をしたい、と語る吉田さん。スタッフたちと、日々賑やかに農業に取り組んでいる。

「30歳で、農家を継ぐことを決断する。『すごく心配されました。親父は、農業を取り巻く環境が明るくないことをよく知っていたから。今ならとてもできませんが、反対を押し切って農業を始めて。最終的には親父から奪うような形でしたね』。

資金は100万円もない中、まず購入したのは水田にEM（有用微生物群）菌をまく機械だった。

「親父とは違うアプローチだったので、最初は衝突しました。それでも理想を追求するため、青年農業者クラブに所属して仲間のもとに習いに行き、有機稲作研究所の勉強会に参加したり」。



山の斜面から運び出された木々は、現場で玉切りして、その断面等から木材として使用できるか否かを確認する。

都会の営業マンから林業へ ストレスフリーで日々充実

栃木県鹿沼市 栗野森林組合 牧島正幸さん(39歳) 林業歴6年



**突然の帰郷から早7年
故郷の山は俺が守る**

緑豊かな栃木県栗野町(現・鹿沼市)で生まれ育った牧島正幸さんは、現在、栗野森林組合の中堅として、近隣の山々を守る仕事に従事している。

栗野といえば古くから林業の町として知られるが、牧島さんはカーレースに出場するほどの車好きが高じて、高校卒業後は約8年間、車の部品製造やタイヤ販売店など、自動車関係の仕事をする。

その後、アルミ建材の大手企業へ転職するも2年後には転勤で横浜へ。故郷を離れて約4年間、営業マンとしての都会生活も軌道に乗っていたが、「母親に癌が見つかり、急遽地元に戻ることにしました」と牧島さんは振り返る。

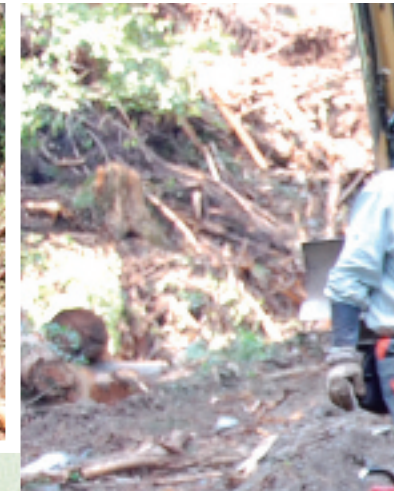
「祖父が山仕事をするのを見て育ったので、大変な仕事だなあと感じていました」という牧島さんは、林業をやるためにUターンしたわけではないが、翌年には応募した栗野森林組合に就職。横浜に転勤する前から交際していた地元の女性と結婚し、今では小学1年生を頭に3人の子どもに恵まれ、すっかり地元根を下ろしている。

**今も残る大雪の爪痕
手入れた山を見る喜び**

現在、牧島さんが作業をしている現場は、栗野森林組合から車で約20分の入栗野山中だ。通常現場へは3〜4人のチームで入る。朝7時半に現場へ集合し、16時頃には解散。現場に直行直帰のため、事務所に立ち寄ることはめったにない

山の斜面には、大雪で倒された大木が手つかずのまま残されている。木を運び出し、新植するための作業が続けられている。

集めた木をチェーンソーで所定の長さに切り揃えていく。



通常は、3~4人で現場に入る。チームワークは完璧だ。



斜面から下ろされた木は、グラップル付バックホウで次々に積み上げられていく。

18歳 地元で自動車関係の仕事に従事

地元の高校を卒業後、地元の企業でダイカスト（アルミニウム等の合金を金型内に圧入して成形する鋳造品）での自動車部品製造やタイヤ販売店等、もっぱら自動車関係の仕事に従事。

26歳 製造業から営業マンへ。転勤で横浜勤務

関東全域でアルミ建材事業を展開する会社の営業マンに転職。横浜に転勤し、安定した日々を送っていたが…。

32歳 母親に癌が発見。すぐに帰郷を決断

意図しない急なリターンではあったが、結果は大正解。今では地元で充実の日々を送る。

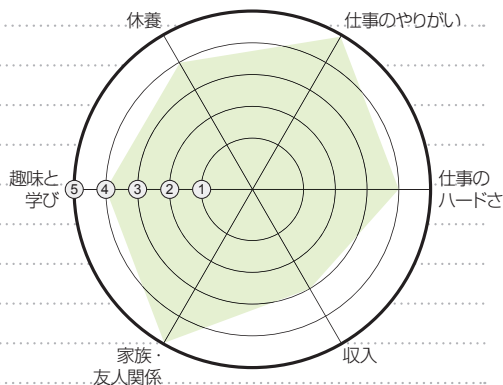


Interview

休日は農作業、スポーツ、そしてお酒！

実家がこんにゃく農家なので、休日はその手伝いをします。ちょうど今頃はこんにゃく芋の植え付けをやる時期です。仕事が16時頃に終わるので、プライベートは充実しています。仕事の後に農作業もやりますけどね。主な趣味はゴルフ、野球、それに酒かな（笑）。地元の祭りなどにも積極的に参加しています。

平成24年に「栃木県林業カレッジ」の研修を修了しました。カレッジでは一通りの重機の扱いが学べるほか、林業架線作業主任者（国家資格）が取得でき、大いに役立ちました。その時の仲間とは、今でも交流がありますよ。信頼できる指導者や良き同僚と出会えて感謝しています。



「楽しい、体はすっかり元通りですが、骨折した箇所が痛む日もありますね」。

また、山の夏は暑く、そして冬は寒い。特に夏場は暑さに加えて、蜂や山蛭といった様々な生物との闘いもあり、なかなかハードな仕事だ。

「それでも営業マン時代のようにノルマに追われることはないし、ストレスがないのが一番ですよ」。

牧島さんは、「山がきれいになること」とキッパリ。林業は、やればやっただけその仕事が目に見える。きれいになった山を見るたびに、手入れたなあという充実感が湧いてくるという。

「帰ってきて良かった」。

周囲の山々を見渡しながら、穏やかな笑顔を見せる牧島さんだ。

いう。休日は日曜日と雨の日。お盆休みと年末年始にはまとまった休みが取れる。「今やっている主な仕事は、雪にやられた木の片付けです」と牧島さん。

昨年2月、日本列島が記録的な豪雪に見舞われたことは記憶に新しいが、栗野も例外ではない。大雪の影響で太い幹が途中から折れたり、根こそぎ倒れたり…。それらの中から、伐倒できるものは伐倒し、安全に運び出せる木は運び出し、木材として使えるものとそうでないもの（バイオマス燃料等に使用）により分けて、切り揃える作業が続けられている。

林業は常に危険と隣り合わせの仕事でもある。牧島さんも切り倒した木に引張られて滑落。肋骨と肩甲骨を骨折し、1カ月半ほど休業したこともある。



収穫した昆布をフォークリフトで持ち上げ、そのまま浜人の加工場へ運ぶ。

外の世界を見たからできる！ 新しい漁業を創造する変革者

宮城県石巻市 漁業生産組合 浜人 **阿部勝太** さん(29歳) 漁業歴 7年



**地元に戻って継いだ漁師
当初は疑問を感じる日々が続く**

わかめや昆布の名産地として知られる、宮城県石巻市の十三浜地区。この地で漁師一家の長男として生まれた阿部勝太さんは、将来的に家業を継ぐ決意をしながらも「5年間だけ外の世界を見たい」と父に直談判し、高校卒業後から仙台、東京、愛知と土地を変えて暮らしたという。「地元しか知らないで一生を過ごすのは嫌だったんです。正直に言えば遊びたかったわけですけどね(笑)」。

約束通り5年で十三浜に戻り、父の下で漁師の仕事始めた阿部さんだったが、その厳しさに衝撃を受けたという。

「労働時間は1日平均15時間くらい。年間の休みは30日あればいい方。危険を伴うのに努力が価格に反映されない。いろんな職を経験しましたが、ダントツで漁師の仕事がきつかったですね」。

そんなハードな仕事に従事して2年が過ぎる頃、東日本震災が発生し十三浜を津波が襲った。数多の人生を変えた大災害は、阿部さんにも影響を与えた。

「みんな精神的に参ってました。両親はここに残ると言うし、まさか自分だけ離れるわけにはいきませんでした。そして、どうせやるなら自分が楽しいと思える仕事に作り変えようと思いました」。

そして、それまで抱いていた不満を解消する方法を模索し始めたのであった。

**安定的な所得と休暇を得るため
製品化と販売ルート構築を実現**

元々は各家族ごとに漁業を営んでいた

湯通しした後の昆布は鮮やかな緑色に輝く。この後、塩水に浸す「塩蔵（えんぞう）」加工に入る。



塩蔵した昆布に重しを乗せ、約2日間かけて脱水する。



収穫した昆布は、まず熱湯に短時間浸す「湯通し」を行う。



わかめの芯を一本一本手作業で取り除いていく。左は真空パックにした浜人のわかめの一例。

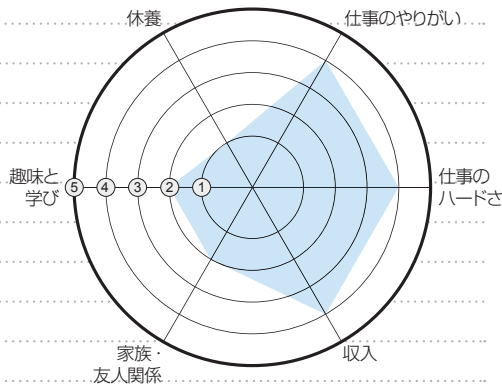


昆布を部位ごとに切り分ける。柔らかい先端部を使った結び昆布を取材中にいただいた。おいしい！

Interview

仕事、生活のバランスを自分の納得できる形に

まだ思いどおりの販売ができていないので、やりがい、収入は満足ではありません。仕事のハードさは「4」。船に乗る以上「3」を切ることはないと思います。家族・友人関係は「2」。子どもが3人いますが全然家族と会えていないし、当然友達とも遊べていません。外に出てた時なら「10」でした（笑）。休養は、この4月からシフト制にして週1日は休めるようにしたのですが、まだ「1」です。ですが、これを上げようとして収入が下がれば家族の項目はもっと下がるかもしれません。全てを同時に「5」にはできないので、自分が納得できるバランスを作っていくことが重要なんですよね。



18歳 高校卒業後、仙台でホテルの営業に就く

「5年間外の世界を見てから漁師になる」という約束をして、まずは仙台へ。個人客や旅行代理店を相手に宿泊や宴会の提案を行った。その後は東京、愛知、また仙台と転々とし、5年が経過。

23歳 約束通り漁師となり父の下で働く

地元の十三浜に戻り、父とともにわかめ、昆布、ホタテなどの養殖を生業にするも、漁師の現実を知る。

29歳 浜人の顔として全国を飛び回る日々

理想とする「所得と休暇が安定した漁業」を実現するため、海に出て養殖や収穫に勤しむ傍ら、各種イベントや企業とのコラボの打ち合わせなどで全国を飛び回っている。

十三浜の漁師だったが、いち早く復興を進めるために阿部さんの親の世代の漁師が話し合い、5家族で協業することを決めた。そして漁業生産組合浜人ができたのだが、阿部さんは従来通り収穫物を漁協に収めるのではなく、加工し、パッケージして販売店に出せるまでの工程を浜人にて行うことを提案した。自分たちが育てたわかめや昆布を、飲食店やスーパーへ売り込むという構想である。

自分たちで値段をつけることができれば所得は安定する。安定した所得があれば従業員を増やし、その分、休みを増やすこともできる。当初は「漁師歴も浅いのになんか強いの」と強い反対もあったというが、阿部さんの熱意が上回った。現在では浜人は順調にその活動規模を広げている。若い従業員も増え、この秋には加工場を1つ新設するという。

「漁師の仕事や田舎での生活を客観視できるようになったという意味で、外に出たことが生きたと思う。外を見たから疑問を持たし、疑問を持たれたから変えようと思ったことができました」。

将来的に、次の世代へ自信を持ってパトナタッチできる漁業の仕組みを作ることが、阿部さんの目標である。

「自分の子どもに継いでほしいとは言いませんが、『サラリーマンの3倍稼げる漁師という仕事があるぞ。その分、きついけどな』と言えるようにしたいですね」。

阿部さんが語る話には、不思議な力強さがある。このバイタリティあふれる変革者は、自らが掲げる理想に向かって今日も走り続けているのだろう。

農業で起業？

～農業への情熱を支援する国の施策～

「自営で就農を果たす」

鹿児島県・指宿市
(株)カマタ農園

鎌田嗣海さん



開聞岳の麓に広がる鎌田農園。

**就農3年で17ヘクタールに拡大
地元で期待される若き農園主**

「薩摩富士」の愛称で知られる開聞岳を仰ぎ見つつ、17ヘクタールの畑でキャベツやレタスを栽培する鎌田嗣海さん。3年9カ月前に建設業から転身し、地元の鹿児島県指宿市で新規就農を果たした。

当初は青年就農給付金（経営開始型）を利用してしたが、わずか2年で卒業。「1年目は無収入だったので助かりました。給付金は全てトラクターの頭金にしました」という。資金繰りの厳しい就農当初に基盤作りに努めたことが成功につながった。

昨年、「カマタ農園」は法人化を果たし、従業員は10人を超える等、破竹の勢いで経営規模を拡大している。

**成功のカギは仲間と立ち上げた
共同出荷グループ**

もともと「家庭菜園が趣味で、野菜作りをしていました」という鎌田さん。前職の建設業界は景気が伸びず、転職を考えていた時に好きな野菜作りを仕事にしたいとの思いを強めた。

短期間で成功した秘訣のひとつは、地域の若手農家たちが共同出荷を目的に立ち上げた「愛菜家グループ」にある。

「大手チェーン店への販路を確保できたのは、仲間の営業力によるところが大きいです。農業は一般的にイメージする畑仕事だけではなく、営業や経営等を含めた多岐に渡る仕事。その中で自分に向いていることを見極めるこ



指宿市農業委員会の諏訪園一行会長。「指宿は元気のある地域。鎌田さんのように拡大を目指す若い人は、みんなの刺激になっている」と目を細める。

とが、とても大切だと感じています」。

**努力とコミュニケーション力が
大事**

農業を始めて大変だったことは、「天候に左右されることと、周囲の人々と信頼関係を築くこと。従業員を雇うようになつてからは、その人間関係にも気を配っています」。

そのため「農業に必要なのはコミュニケーション力」というのが鎌田さんの持論だ。

「農業に向いている人は、まずは頑張り屋さん。そして重要なのは、人付き合いが苦にならない性格で、いろん

な人たちと信頼関係を築けること」という。

さらに、行動することの重要性を説く。「農業は取り組んだ分だけ、収入や経験として還ってくる仕事でもあるので、まずは始めてみるのが大事です。漠然とした興味からスタートしても、経験を積む中でやりたいことを見つけていくことができます」。

今後の夢として、「まずは、後輩が開店した食事処に自分が育てた作物を卸して、その店を行きつけにすること」と笑う鎌田さん。その仲間思いの性格が、もうひとつの成功の秘訣でもあるのだ。

KeyWord

青年就農給付金

45歳未満の独立・自営就農者等を対象に年間150万円を給付する国の事業。2012年度から実施。準備型（最長2年間）、経営開始型（最長5年間）合わせて最長7年間が給付期間。

準備型は、研修終了後1年以内に、独立・自営就農（親元就農の場合は研修終了後5年以内に経営を継承するか農業法人の共同経営者になる）か雇用就農し、給付期間の1.5倍（最低2年間）の期間、就農を継続することなどが給付要件。経営開始型は、人・農地プランに位置づけられ、前年の所得合計が350万円未満であることなどを要件とする。

農業で就職？ それとも、



より良い米作りを目指す2人。上野社長（右）と堀さん。

「農業法人に就職」

新潟県新潟市

(有)ナーセリー上野

代表取締役社長・上野喜代一さん

水稻担当・堀良太さん

人にも作物にも大事なものは愛情
一丸でより良い米作りを目指す

全国の市町村でナンバー1の水田面積を誇る新潟市。ナーセリー上野は、この米どころに平成5年に設立された農業法人だ。

「自然を相手に作物を育てていくこの仕事は、他では得られない喜びがある。自分にとっては最高の仕事」と語る上野社長の仕事に対する信念は「自分が育てる作目への愛情と責任感をもっとも大切」。会社には現在、9人の社員が所属しており、農の雇用事業を利用して近々10人目を採用する予定だ。その内訳は農外出身者が多いが、定着率が非常に高く、各社員が意欲を持って取り組んでいる。毎月、月次報告会を開き、経営をオープンにしていることが大きい。

社員には「農業が好き」という気持ちを忘れず、じっくりと取り組んでほしいという上野喜代一社長。「最終的には社員一人ひとりが経営感覚を持つようにしたい。販売部門ごとに独立採算性をとり、そのリーダーになってほしい」と力を込める。

そんな期待を受けて、21・5ヘクタールの水田を切り盛りするのは、入社4年目の堀良太さん。上野社長が「何でも体で覚えさせた。ただ仕事するのではなく、自分で計画を立てさせ、後で反省、翌年につなげるように促した」と言うように、2年目から稲作の管理を任せられ、現在は水稻部門のリーダーを務めている。

堀さんは今後の目標に「GAPの



「特選こしひかり」「カモ農法こしひかり」等のバラエティパック。

取得と後輩の育成、販路の拡大」を掲げる。東京で行われた次世代農業者向けのセミナーに参加する等、意欲的だ。「農業に大事なものは、とにかくやる気。私は農業大学で学びましたが、実際に現場に出てみると勝手が違うことも多々ある。性根を据えて取り組むしかない」。

同社は、生産量の7割を自前の直売所「ガーデンプラザ」で売り切るほど、地元の消費者とのつながりが強い。堀さんには、生産するだけではなく販売する側に立った考え方も求められている。

まず浮かぶのはお客さんの笑顔

ナーセリー上野の将来像を思い描くとき、上野社長の脳裏に浮かぶのはお客さんの笑顔だ。

「自分が良い行いをすれば、周りにも良い影響を与え、ひいては会社自体も良くなっていく。会社の規模を大きくするより、今の環境で切磋琢磨しな

農の雇用事業

Keyword

農業法人などが新たに雇用した正社員(雇用就農者育成タイプ)や法人設立による独立希望者(法人独立支援タイプ)へ、就農に必要な技術・経営ノウハウなどをOJT研修することに対して、研修生1人当たり年間最大120万円を助成する国の事業。08年度から実施。雇用就農者育成タイプは最長2年間、法人独立支援タイプは最長4年間を給付する。

前身の先進経営体実践研修活動を含め全国農業会議所が実施主体。都道府県農業会議が窓口業務や現地確認を担当する。研修生の過去の農業従事経験が5年以内で、雇用・労災保険に加入させることなどが要件。

がらより良いものを作り、お客さんに美味しく食べてもらいたい」。

アカシヤの木々に囲まれた立地を活かして、今年から養蜂にも取り組み始めたという同社。今夏から、直売所にはハチミツが

並ぶ予定だ。その瓶には、「人を喜ばせた」というナーセリー

上野の思いが詰まっている。



直売所には様々な加工品が並ぶ。

「地元に戻る帰らない会議」

in 移住・交流情報ガーデン

GUEST



三浦大紀さん

地元・島根県を拠点に企画・宣伝等の事業を展開する株式会社シマネプロモーションの代表取締役。

平成27年4月25日には、公益財団法人ふるさと島根定住財団と法政大学の学生たちが共同で「地元に戻る帰らない会議」を開催。出身地や年齢を問わず「地元」にUターンしようかモヤモヤ悩んでいる方を対象にした会議には30人が参加した。

「都会に残るのか、はたまた地元に戻るのか」
参加者たちの
モヤモヤを解決

今春、移住に関する情報拠点として東京駅そばにオープンした「移住・交流情報ガーデン」。専門の相談員が常駐し、各県のパンフレットを揃える等、地方への移住希望者に対して情報を提供している。週末には移住に関するイベント等もあり、気軽に立ち寄れるオープンな雰囲気とアクセスの良さで活況を呈している。

関心を持つことが地元愛につながる

会議は、地元の島根県を拠点に企画・宣伝の事業を展開する株式会社シマネプロモーションの代表取締役・三浦大紀さんのゲストトークからスタート。国会議員秘書やNGO・日本リザルトの職員等の経歴を持つ三浦氏は地元に戻った理由について「国会や国際協力の団体で働いていた頃は日本や海外に対する関心が強かったが、もともと身近な場所である地元を飛び越えていることに気付いた。私が尊敬するマザー・テレサは『愛の反対は無関心』と言っているが、言い換えると『関心を持てば愛が生まれる』ということ。それが『地元愛』に置き換えられていく。本日のテーマ、『地方で働く』とはどういうことか。私が考えるのは、役割を持つということ。場所にこだわるのではなく、まず身の周りに関心を持ち、自分の役割を探し、作り出していくこと」と語った。



▼会場には島根県だけではなく、多様な出身地の参加者が集まった。





GUEST

田中輝美さん

故郷・島根県を舞台に活躍する“ローカルジャーナリスト”。著書やネットで島根暮らしの“リアル”を発信中。

好きな気持ちを発信しよう

続いてマイクを握ったのは、地元・島根県で、ローカルジャーナリストとして活動する田中輝美さん。地方紙・山陰中央新報社で新聞記者として働く中で、地元愛に目覚めた。「入社直後は都会や大企業で働くことがカッコいいと思っていたが、転職を考えた際に脳裏に浮かんだのは、友達や仲間等、地元にいる好きな人たちの顔。ここで生きていくことが自分の幸せだと気付いた。そこから主にインターネットで情報を収集し、山陰地方の文化を見直し、山陰の魅力を丁寧に伝えている『NPO法人くらしアトリエ』とも交流を持つことで、島根の魅力を再認識できた。地元の魅力の見つけ方として大切なのは、自分でも情報を発信するということ。島根が好き、等、発信すればするほど、情報は集まってくる。まずは動いてみることに。」



▲▶グループワークでは、自分たちの出身地の魅力を出し合う。「自分の出身地以外の地域の方が魅力を見つけやすい」との声も。

この後のグループワークでは、参加者が5〜6人の班に分かれ、それぞれ「地元のいいところ」を出し合い、各班でもっとも盛り上がった話題を発表。「島根は自然が豊かで登下校が楽しい」「大阪には親しみやすい特有のくだけた敬語がある」等、様々な視点から地元の魅力を再発見した。



出身地だけが地元じゃない

参加者の広島県出身の大学生・倉田敏宏さんは「地元が懐かしくなかった。いろんな意見が聞けて、見えていなかったところが見えてきたので今後の参考にしたい」と語った。

主催した法政大学社会学部藤代ゼミの学生、沼能奈津子さんは「地方出身の私は、将来的に『地元』に帰らなきゃ」という思いがあったが、ゼミでの島根取材を通し、場所にとらわれず好きなことをやっている人たちに出会えた。今日の会議をきっかけに、どこで生きるのかを見つめ直すきっかけにしてもらえれば」と期待を寄せた。



◀ 新規就農希望者向けの相談ブース。予約なしで気軽に相談できます。

移住・交流情報ガーデン

移住に関する情報の窓口として、総務省が平成27年3月28日に八重洲通り沿いにある「越前屋ビル」の1階に開設した「移住・交流情報ガーデン」。東京駅からなら、八重洲中央口を出て地下街に直進し、突き当たりの右方の24番階段を上るのが分かりやすく、悪天候時にも便利だ。通りに面した明るい館内には、移住や就農等についての相談員が常駐し、「移住に興味はあるけど、時期も場所も未定」といった相談も可能。各都道府県の情報誌の配布や、移住情報を自分でチェックできるパソコンの設置、キッズスペースとして利用可能な和室の完備等、誰にでも開かれた窓口として情報を発信している。週末には移住にまつわるイベントも開催中だ。

移住をこれから検討するという方も、気軽な気持ちでお立ち寄りください！



▶ スタッフの森山忍さん

住所 ▶ 東京都中央区京橋1丁目1-6 越前屋ビル1階
 時間 ▶ 【平日】11:00～19:00 【土日祝】10:00～18:00
 休み ▶ 月曜日
 URL ▶ <https://www.iju-navi.soumu.go.jp>



第2回

平成27年度

農林水産省・文部科学省後援

日本農業技術検定 のご案内



撮影協力：JAしみず営農部

日本農業技術検定は、農業高校からの進学・就職や農業大学校・大学での資格取得、農業法人等で学ぶ研修生の研修効果の確認のほか、JA営農指導員や都道府県農業改良普及員・民間農業関連企業・農業法人社員の技術レベルの向上にも利用するなど社会人にも幅広く活用されています。

受験者は年々増加しており平成26年度は2万3千人の受験があり、平成27年度第1回検定でも受験者は増加しています。

農業生産法人での研修生(農の雇用)は本検定を受験しており、農業生産法人では一定レベルの資質をもった従業員を求めているので、採用にあたって資格を優遇する法人も増えています。

また、最近ではJA営農指導員の受験者が増加しており、一部のJA県グループでは日本農業技術検定2級資格を中級営農指導員資格としています。

就農や農業法人、JA等就職のために是非日本農業技術検定を受験しましょう！

過去問題集で
バッチリ対策、実力アップ！

▶お申し込みは都道府県農業会議へ

全国農業図書

検索



平成27年度 第2回試験日程

1. 試験日	【第2回】平成27年 12月12日(土)
2. 試験時間	【3級】10:00～10:40(40分)
	【2級】11:10～12:10(60分)
	【1級】13:00～14:30(90分)

3. 試験会場	■一般受験は東京・大阪等各地の指定会場。			
	■団体受験は試験実施団体の準備・提供した会場。			
4. 受験料		一般受験	団体受験	団体受験 (学生割引)
	【3級】	3,080円	2,570円	1,540円
	【2級】	3,080円	2,570円	1,540円
	【1級】	5,140円	4,110円	3,080円

第2回受験のお申し込みは**10月2日(金)**から
日本農業技術検定ホームページで！

<http://www.nca.or.jp/kentei/>

品質第一、現場主義の竹内園芸。 経験と若い力のチームワークが原動力です。



募集要項

- 給与：初任給／大卒183,000円、院卒193,000円、短大卒168,000円
- 待遇：昇給年1回、賞与年2回、社会保険（健康、厚生年金、雇用、労災）完備 諸手当（通勤手当、住宅手当（条件に応じ）、時間外手当）
- 勤務地：徳島（板野、上板）、群馬、熊本、佐賀
- 勤務時間：8：00～17：30
- 休日休暇：日曜日、リフレッシュ休暇（21日間）、年末年始5日間、有給休暇、慶弔休暇
- 福利厚生：育児休業制度、介護休業制度ほか
- 募集職種：生産、営業、総合職

会社概要

- 業種：農業（野菜苗、花苗等の生産（育苗）及び販売）
- 設立：昭和57年
- 資本金：300万円
- 代表者：代表取締役 竹内育美
- 社員数：148名（5月現在）
- 関連会社：
 - （農）徳島野菜育苗組合（野菜苗、花苗等の生産及び販売）
 - （有）徳島シードリング（閉鎖型育苗生産システムによる野菜苗の生産及び販売）
 - （株）四季彩（ガーデニングセンター）
 - その他、産直市場・食堂・体験農園を兼ね備えた阿波食ミュージアムという事業も展開しております。

応募方法

こちらをご覧ください。
 ■ホームページ：
<http://www.takeuchi-yasainae.com>
 ■リクナビ2016
 弊社にご興味・ご関心のある方は、履歴書とエントリーシート（弊社ホームページに掲載）を送付してください。

連絡先

〒779-0105
 徳島県板野郡板野町大寺字大向北88-1
 総務部採用担当：小林
 TEL：088-672-6556 FAX：088-672-6268
 E-mail：saiyou@takeuchi-yasainae.com



有限会社 竹内園芸

<http://www.takeuchi-yasainae.com>

こうちアグリスクール 大阪・東京・名古屋会場

8月22日(土)～10月10日(土) **40名** | 9月19日(土)～11月7日(土) **40名** | 10月17日(土)～12月12日(土) **20名**

※各会場 全6回 / 13:00～16:30（希望者は終了後に就農相談あり）
 ※受講料は全6回で3,060円（研修初日に徴収）



高知で農業始めてみんなかよ！

農業

の基礎知識をはじめ、就農までの流れ、支援制度、栽培技術、施設園芸、環境保全型農業といった高知県農業の特徴など専門のスタッフが講義を行います。

【研修対象】高知県内での就農をお考えの方で、原則すべての講義（全6回）に参加できる方。（18歳以上で概ね65歳以下の方に限らせていただきます）

研修スケジュール		
会場	日時と場所	募集締切
大阪	8/22(土)・29(土)・9/5(土)・26(土)・10/3(土)・10(土) 新大阪丸ビル別館3F（大阪府大阪市東淀川区中島1-18-22）	8/14(金)迄
東京	9/19(土)・26(土)・10/3(土)・17(土)・24(土)・11/7(土) A P浜松町芝パークビルB館地下1F（東京都港区芝公園2-4-1）	9/11(金)迄
名古屋	10/17(土)・24(土)・11/7(土)・14(土)・12/5(土)・12(土) TKPガーデンシティ名古屋新幹線口（愛知県名古屋市中村区椿町1-16）	10/9(金)迄

平成27年度
研修生
募集！



農業という
ライフスタイル。

【お申し込み・お問い合わせ】

高知県立農業担い手育成センター

窪川アグリ体験塾

（担当：矢野・山崎・手島）

高知県高岡郡四万十町黒石665

e-mail: aftc2014@ken.pref.kochi.lg.jp

☎0880-24-0007 FAX.0880-24-1272

【申し込み方法】申込書に必要事項を記入してFAXまたはメールで送付（高知県立農業担い手育成センターホームページからもダウンロード可）

移住相談はこちら

高知移住コンシェルジュ

高知県移住促進課 移住・交流コンシェルジュ

E-mail: iju@ken3.pref.kochi.lg.jp TEL.088-823-9336

こうちアグリスクール 検索



高知移住コンシェルジュ 検索



3泊4日で農家のお手伝いをしてみませんか? ワーキングホリデー飯田 参加者募集!

飯田市では、忙しい時期の農家をお手伝いいただく
援農ボランティア「ワーキングホリデー飯田」の参加者を募集しています。
「農業に関心がある」「自然が大好き」「農家の生活を体験したい」という皆さん、
どうぞ飯田へ「おいでなんしょ!」



◎2014年ワーキングホリデー参加者の声

(秋季/50代/男性) 柿の収穫と吊るしの作業をしました。南アルプスを見ながらの収穫は時を忘れる感覚でした。
(秋季/50代/女性) リンゴの玉回しや選果作業をしました。プロの指導を受けて「生きた」情報を得ることができ、農作業の「厳しさ」を実感できました。
(春季/30代/男性) 「百聞は一見にしかず」。実際に体験してみても分かったことが沢山ありました。将来、新規就農をする第一歩が踏み出せた感じがします。
(春季/20代/女性) 農家の暮らしに触れることができ、作業以外にも、人と人とのつながりを感じました。

柿の収穫

秋のワーキングホリデー

- 日程(予定)
第1回 平成27年10月31日(土)~11月3日(火・祝)
第2回 平成27年11月20日(金)~11月23日(月・祝)
- 宿泊・食事/作業をする農家にて提供。食事は初日夕方から最終日昼食まで。
- 作業内容/市田柿収穫加工、リンゴ収穫、ネギ収穫、酪農など。
- 募集人員/第1回、第2回合わせて100名程度。
- 参加費/無料(ただし、現地までの交通費は参加者負担となります)
- 募集期間/平成27年9月1日(火)~9月15日(火)
- 応募方法/インターネット、申込書請求のうえ郵送又はFAXでお申込みください。
- 参加の可否/実施日の20日程度前までに事務局よりお知らせいたします。

春のワーキングホリデー飯田

- 日程/ゴールデンウィーク期間
- 募集期間/毎春3月1日より申込受付開始

その他の期間

- 農閑期1~2月を除き、随時募集中です。事務局までお気軽にお問合せください。

お問合わせ先

長野県飯田市役所農業課
農村振興センター係内
ワーキングホリデー飯田事務局

☎ 0265 (21) 3217
〒395-0817 長野県飯田市鼎東鼎281
FAX. 0265 (52) 6181
E-mail : worholi@city.iida.lg.jp

飯田市 ワーキングホリデー

農業のプロをめざして学ぶ!

タキイ研究農場付属

園芸専門学校

2016年度 生徒募集中

- 第一次募集は10月出願締切
- 選考方法に面接試験あり



■ 就学期間

2016年4月1日から
2017年3月31日
※希望者はさらに1年間の
専攻科就学が可能(選考有)

■ 選考方法

面接試験と提出書類の
審査により決定する

■ 募集人員

園芸本科生60名

■ 出願資格

高等学校卒業以上の
24歳以下の独身男性

■ 合格発表

面接試験終了後10日以内に通知

■ 出願締切

- 第一次 2015年10月10日(土) 必着締切
 - 第二次 2016年 2月10日(水) 必着締切(若干名)
- ※願書は随時受付中

出願者は
学校見学必須
(随時受付中)

学校見学会 2015年

7月24日(金)・25日(土)
8月21日(金)・22日(土)
9月11日(金)・12日(土)

個別相談や施設・学校の案内をします。
友達や保護者の方と一緒にどうぞ!
※上記の日程で来られない方は、ご相談ください。

自治全寮制、入学金・授業料は不要、寮費・食費ともに学校負担、季節毎に特産地見学があります。毒物劇物取扱責任者資格の取得を指導、危険物取扱者資格取得可、日本農業技術検定受験指導。入学案内のご請求は下記までお願いします。

タキイ研究農場付属

園芸専門学校

〒520-3231 滋賀県湖南市針1360
TEL(0748)72-1271(代) FAX(0748)72-1285

タキイ 園芸専門学校

(公社)新潟県農林公社 青年農業者等育成センター

豊かな自然・食材の宝庫、にいがた

この地で農業にチャレンジしませんか?
あなたの就農をガッツでサポートします。

にいがたで
おいしい食べ物を
作ってネ!!



支援1 就農相談の実施(専任の相談員が対応)

東京	7月11日(土)、8月29日(土)、 10月3日(土)、11月28日(土)	表参道・新潟館ネスパス	就農相談に併せて 移住・定住相談可
	6月20日(土)、2月28日(日)	ふるさと回帰支援センター	移住・定住のための 就農相談
新潟	8月1日(土)、11月8日(日)	新潟東急REIホテル	新潟県内の農業法人等 との就業面談。
	2月28日(日)	新潟市内(未定)	就農・就業相談。

※「新・農業人フェア」(東京会場7/11、10/3、12/12)に出展。

※新潟県新規就農相談センターでは、9~16時(土日を除く)に面談や電話等で相談に対応。

支援2 体験・研修 プログラムの提供

支援3 農業の 就職先を紹介

お問い合わせ

新潟県新規就農相談センター

検索

(公社)新潟県農林公社
青年農業者等育成センター

新潟県農業会議 事業推進部

☎ 025-281-3480
FAX 025-281-3481

☎ 025-223-2186
FAX 025-223-2401

秋田県 能代市

今がチャンス!能代で農業

~就農者を募集中~

(白神山地を望んで農業)

世界自然遺産で知られる白神山地の麓で
農業を始めてみませんか。

国・県・市が、研修段階から様々な
支援を行っています。

まずは見学会で能代市を体験してみよう!

◎見学会の開催日

平成27年9月11日(金)~13日(日)

- ・参加世帯は2世帯を目安
- ・ねぎ農家と水稻農家を見学予定
- ・おなごりフェスティバル見学予定!

○見学会費用を助成します。

旅費の一部助成(上限5万円)+条件を満たせばさらに5万円!

○問合わせ先

(詳しくは、ホームページをご覧ください)

秋田県能代市 環境産業部 農業振興課

恋文の里 農業 検索

〒016-8501 秋田県能代市上町1-3

TEL: 0185-89-2182 FAX: 0185-89-1774

E-mail: nourin@city.noshiro.akita.jp

もんげー農家になってみられー

(すごい農家になりませんか?の岡山弁)

岡山県は「晴れの国」。恵まれた日照
条件を活かし、生産量全国1位の白桃、
ピオーネ(ぶどう)など様々な農産物
が栽培されています。また、県や市町村、
生産者が一体となって就農を支援する
研修制度があり、これまでに200名以
上の方が就農しています。あなたも晴
れの国おかやまで「もんげー農家」に
なりませんか?

詳しい情報は、ホームページでチェックしてください。
⇒ <http://www.okayama-ninaite.com/>

電話での問合せはこちら

■(公財)岡山県農林漁業担い手育成財団

☎ 086-226-7423

■岡山県農業会議(無料職業紹介所)

☎ 086-234-1093

■岡山県農産課担い手育成班

☎ 086-226-7420

芳香ある大粒の種なしぶどうとして人気のピオーネは「岡山県特産のぶどう」です。

長野県 長野市

ながのご縁を



信都・長野市

農業

はじめませんか

長野市は
新規就農者のみなさんを
応援します

長野市で農業をはじめようとお考えの方
長野市では、青年就農給付金事業
または長野市独自の新規就農者
支援事業などの支援制度により
あなたの就農を応援します!

問合せ先

長野市 農林部農業政策課

TEL:026(224)5037(直通) FAX:026(224)5113

HP:<http://www.city.nagano.nagano.jp>

E-mail:nosei@city.nagano.lg.jp

移住

活用しよう!! WEB iju info
URL <http://web-iju.info/>



I・J・Uターン農林漁業就業相談窓口

ここでは都道府県や関連団体が開設している相談窓口を紹介する。農林漁業への就業を希望する場合は、専門的な内容となるので、各業種の相談窓口を積極的に活用しよう。

相談窓口には、それぞれ全国段階と都道府県段階がある。全般的な相談は全国段階、地域の具体的な相談は都道府県段階で受け付けている。相談に行くときは、事前に連絡をしよう。

●地元設置されているI・J・Uターン定住・相談窓口 (注) 定=定住情報、就=就職相談窓口

地域	団体名	定	就	電話番号	所在地
北海道	北海道移住促進協議会	定		011(251)1055	札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1.7ビル4階
青森県	移住・交流総合窓口	定		017(734)9174	青森市長島1-1-1 県庁南棟3階
岩手県	定住・交流サポートセンター	定		019(629)5194	盛岡市内丸10-1 県庁内
	(公財)ふるさといわて定住財団		就	019(653)8976	盛岡市大通3丁目2番8号 岩手県金属工業会館6階
宮城県	Uターン就職情報サイトみやぎ 仙台情報センター		就	022(722)3986	宮城県仙台市青葉区中央4-7-17 ベルザ仙台7階
秋田県	(公財)秋田県ふるさと定住機構		就	018(826)1731	秋田市御所野地蔵田3-1-1 秋田テルサ3階
山形県	すまいる山形暮らし案内所	定		023(630)3083	山形市松波2-8-1 県庁内
福島県	ふるさと福島就職情報センター・福島窓口		就	024(525)0047	福島市三河南町1-20 コラッセふくしま2階
茨城県	いばらきさとやま生活「田舎暮らし相談窓口」	定		0294(72)2266	常陸太田市山下町949-9
栃木県	“とちぎ暮らし”推進協議会(地域振興課)	定		028(623)2236	宇都宮市塙田1-1-20
静岡県	ふじのくに移住・定住相談コーナー	定		054(221)2610	静岡市葵区追手町9-6 県庁東館11階交流促進課内
愛知県	愛知県交流居住センター	定	就	052(232)1750	名古屋市中区錦1-10-27 カネヨビル4階
新潟県	新潟県総務管理部地域政策課交流・定住促進班	定		025(280)5088	新潟市中央区新光町4-1
富山県	「くらしたい国、富山」推進本部	定		076(444)4496	富山市新総曲輪1-7
福井県	福井県ふるさと帰住センター	定	就	0776(34)5291	福井市西木田2-8-1 福井商工会議ビル1階
長野県	長野県企画振興部地域振興課(信州暮らし案内人)	定		026(233)1794	長野市大字南長野字幅下692-2 県庁内
	長野県商工労働部労働雇用課		就	026(235)7118	長野市大字南長野字幅下692-2 県庁内
岐阜県	岐阜県清流の国づくり政策課	定		058(272)8078	岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁3階
	岐阜県総合人材チャレンジセンター		就	058(278)1149	岐阜市藪田南5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎2階
三重県	おしごと広場みえ		就	059(222)3309	津市羽所町700 アスト津3階
京都府	京の田舎ぐらし・ふるさとセンター	定		075(441)6624	京都市上京区出水通油小路東入ル丁子風呂町104-2 府庁西別館2階
	京都ジョブパーク農林水産業コーナー		就	075(682)1800	京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ西館3階
兵庫県	ひょうご・しごと情報広場		就	078(360)6216	神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー 12階
奈良県	奈良県 県・市町村ワンストップ窓口	定		0744(48)3016	橿原市常盤町605-5 総合庁舎3階
和歌山県	和歌山県企画部過疎対策課	定		073(441)2426	和歌山市小松原通1-1
	和歌山県ふるさと定住センター	定		0735(78)0005	東牟婁郡古座川町直見212
	和歌山県農業大学校就農支援センター		就	0738(23)3488	御坊市塩屋町南塩屋724
鳥取県	(公財)ふるさと鳥取県定住機構	定	就	0857(24)4740	鳥取市扇町7 鳥取フコク生命駅前ビル1階
	鳥取県移住定住サポートセンター	定		0120(841)558	鳥取市扇町7 鳥取フコク生命駅前ビル1階
島根県	(公財)ふるさと島根定住財団	定	就	0852(28)0690	松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
岡山県	岡山県中山間・地域振興課	定		086(226)7267	岡山市北区内山下2-4-6 県庁8階
	岡山県労働雇用政策課		就	086(226)7599	岡山市北区内山下2-4-6 県庁7階
広島県	広島県中山間地域振興課	定		082(513)2632	広島市中区基町10-52 県庁南館2階
	ひろしま夢ぶらざ 田舎暮らし相談コーナー	定		082(544)1122	広島市中区本通8-28
	広島県無料職業紹介所		就	082(513)3422	広島市中区基町10-52 県庁東館3階
山口県	やまぐち暮らし総合支援センター	定	就	083(976)0277	山口市小郡高砂町1-20
徳島県	とくしまジョブステーション		就	088(625)3190	徳島市寺島本町西1丁目61番地 徳島駅クレメントプラザ5階
愛媛県	愛媛ふるさと暮らし応援センター	定		089(922)4110	松山市宮西1丁目5番19号 愛媛県商工会連合会館3階
高知県	高知県移住・交流コンシェルジュ	定		088(823)9336	高知市丸ノ内1-2-20 県庁3階
	高知県U・Iターン企業就職支援センター		就	0120(103)245	高知市本町2-2-29 畑山ビル5階
佐賀県	佐賀県のしごと相談室		就	0952(25)7066	佐賀市城内1-1-59 新行政棟2階
長崎県	長崎県企画振興部地域づくり推進課	定	就	095(895)2241	長崎市江戸町2-13
熊本県	熊本県企画振興部地域振興課	定		096(333)2181	熊本市中央区水前寺6-18-1
	熊本県Uターン事務所		就	0120(827)867	熊本市中央区水前寺1-4-1 水前寺駅前ビル2階熊本県雇用環境整備協会内
大分県	おおいた産業人財センター		就	0120(119)201	大分市中央町3-6-11 ガレリア竹町内
	大分県企画振興部 観光・地域局 集落応援室	定		097(506)2125	大分市大手町3-1-1 大分県庁舎本館3階
宮崎県	宮崎県中山間・地域政策課	定		0985(26)7035	宮崎市橋通東2-10-1

●全国の就職情報や関連情報を提供する窓口

地方就職支援コーナー〔地方や農林漁業に関する職業相談、就職紹介、求人情報等の提供（国の機関）〕	03 (6402) 5194	東京都港区芝大門1-3-4 芝大門ビル3階
まちむら交流きこう 広報情報センター部〔農林漁業体験の情報提供〕	03 (4335) 1982	東京都千代田区神田東松下町45 神田金子ビル5階

●道府県I・J・Uターン就職情報等提供・相談窓口 (注) 農=農業就業情報、林=林業就業情報、漁=漁業就業情報、定=定住情報、求=地元企業求人情報

地域	団体名	農	林	漁	定	求	電話番号	所在地
北海道	北海道移住情報コーナー	農			定	求	011 (204) 5089	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階 北海道東京事務所内
青森県	あおもりUターン就職支援センター					求	03 (3238) 9990	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7階 青森県東京事務所内
	青森暮らしサポートセンター（首都圏ブース）	農	林	漁	定		03 (6273) 4401	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館6階
岩手県	岩手県Uターンセンター	農			定	求	03 (3524) 8284	東京都中央区銀座5-15-1 南海東京ビル1階 いわて銀河プラザ内
	岩手県Uターンセンター・大阪				定		06 (6341) 3258	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階 岩手県大阪事務所内
宮城県	Uターン就職情報サイトみやぎ 東京情報センター					求	0120 (820) 461	東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル4階
秋田県	Aターンプラザ秋田				定	求	0120 (122) 255	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7階 秋田県東京事務所内
	秋田県大阪事務所					求	06 (6341) 7897	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第一ビル9階
山形県	山形県Uターン情報センター	農	林	漁	定	求	03 (5212) 8996	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階 山形県東京事務所内
	山形県大阪事務所	農				求	06 (6341) 6816	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階
群馬県	ぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」	農			定	求	03 (3546) 8511	東京都中央区銀座5-13-19 デュプレックス銀座タワー5/13 1・2階
山梨県	やまなし暮らしサポートセンター	農	林		定	求	03 (6273) 4306	東京都千代田区有楽町2-10-1 ふるさと回帰支援センター内
	やまなしU・Iターン就職情報コーナー大阪	農	林			求	06 (6344) 5961	大阪府大阪市北区梅田1-1-3-2100 山梨県大阪事務所内
富山県	富山県東京Uターン情報センター					求	0120 (108) 250	東京都文京区白山5-1-3 東京富山会館ビル5階
	富山県大阪Uターン情報センター					求	06 (6445) 2811	大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館3階
石川県	石川県東京Uターン相談室	農	林	漁		求	03 (5212) 9016	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館14階 石川県東京事務所内
	石川県大阪Uターン相談室	農	林	漁		求	06 (6363) 3077	大阪市北区西天満4-14-3 リゾートトラスト御堂筋ビル2階石川県大阪事務所内
	名古屋ステーション					求	052 (222) 6756	名古屋市中区錦2-13-10 名古屋伏見ビル5階 (株) ディスコ名古屋支社内
	博多ステーション					求	092 (473) 3392	福岡市博多区博多駅南1-10-4 第二博多階成ビル7階 (株) ディスコ西部支社内
福井県	福井県ふるさと帰郷センター 東京オフィス	農	林	漁	定	求	03 (6723) 4322	東京都千代田区有楽町2-10-1 ふるさと回帰支援センター内
	福井県ふるさと帰郷センター 大阪オフィス	農	林	漁	定	求	06 (6226) 1688	大阪市中央区瓦町2-2-14 福井県大阪事務所内
長野県	長野県移住・交流センター	農	林		定	求	03 (6274) 6016	東京都中央区銀座5-6-5 NOCOビル4階
新潟県	にいがたUターン情報センター	農	林	漁	定	求	03 (5771) 7713	東京都渋谷区神宮前4-11-7 表参道・新潟館スパス2階
静岡県	静岡U・Iターン就職サポートセンター	農	林	漁	定	求	0800 (800) 6617	東京都品川区上大崎2-25-2 新目黒東急ビル6階 (株) シグマスタッフ内
和歌山県	きのくにUターンセンター	農	林	漁	定	求	03 (5212) 9057	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館12階 和歌山県東京事務所内
鳥取県	ふるさと鳥取定住コーナー（東京）				定	求	03 (5215) 5117	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階 鳥取県東京本部内
	ふるさと鳥取定住コーナー（大阪）				定	求	06 (6455) 0233	大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階 鳥取県関西本部内
島根県	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー（東京）				定	求	0120 (60) 2357	東京都中央区日本橋室町1-5-3 福島ビル1階 にほんばし島根館内
	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー（大阪）				定	求	0120 (70) 2357	大阪市北区西天満3-13-18 島根ビル2階 島根県大阪事務所内
	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー（広島）	農	林	漁	定	求	0800 (100) 6435	広島市中区立町1-23 ごうぎん広島ビル3階 島根県広島事務所内
岡山県	岡山県企業人材確保支援センター 東京ランチ					求	03 (5212) 9080	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階 岡山県東京事務所内
	岡山県企業人材確保支援センター 大阪ランチ					求	06 (6131) 6390	大阪市北区堂島浜2-1-29 岡山県大阪事務所内
広島県	東京ふるさと就職情報コーナー					求	03 (3580) 0851	東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー22階 広島県東京事務所内
	大阪ふるさと就職情報コーナー					求	06 (6345) 5821	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 広島県大阪情報センター内
山口県	やまぐち暮らし東京支援センター	農	林	漁	定	求	03 (6273) 4887	東京都千代田区有楽町2-10-1 ふるさと回帰支援センター内
	やまぐち暮らし大阪支援センター	農	林	漁	定	求	06 (6341) 0755	大阪市北区梅田2-4-13 阪神産経桜橋ビル2階 山口県大阪営業本部内
徳島県	徳島県東京本部徳島Uターンコーナー	農				求	03 (5212) 9022	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館14階 徳島県東京事務所内
	徳島県大阪本部徳島Uターンコーナー	農	林			求	06 (6251) 3273	大阪市中央区南船場3-9-10 徳島ビル4階 徳島県大阪事務所内
香川県	香川県東京人材Uターンコーナー	農				求	03 (5212) 9100	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館9階 香川県東京事務所内
	香川県大阪人材Uターンコーナー	農			定	求	06 (6281) 1661	大阪市中央区東心斎橋1-18-24 クロスシティ心斎橋4階
愛媛県	愛媛県東京事務所					求	03 (5212) 9071	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館11階
	愛媛県大阪事務所					求	06 (6441) 2829	大阪市西区江戸堀1-9-1 肥後橋センタービル1階
高知県	高知県東京事務所				定	求	03 (3501) 5541	東京都千代田区内幸町1-3-3 内幸町ダイビル1階
	高知県大阪事務所				定	求	06 (6244) 4351	大阪市中央区本町2-6-8 センバセントラルビル1階
佐賀県	佐賀県経営支援本部首都圏営業本部					定	03 (5212) 9073	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館11階
	佐賀県関西・中京営業本部	農				求	06 (6344) 8031	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階
長崎県	長崎県東京事務所					求	03 (5212) 9025	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館14階
	長崎県大阪事務所					求	06 (6341) 0012	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階
熊本県	熊本県東京事務所	農	林	漁	定	求	03 (3572) 5022	東京都中央区銀座5-3-16
	熊本県大阪事務所	農				求	06 (6344) 3883	大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階
大分県	大分県東京事務所	農	林	漁	定	求	03 (6862) 8787	東京都中央区銀座2-2-2 ヒューリック西銀座ビル6階
	大分県大阪事務所	農	林	漁	定	求	06 (6345) 0071	大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階
	大分県福岡事務所	農	林	漁	定	求	092 (721) 0041	福岡市中央区天神2-14-8 福岡天神センタービル10階
宮崎県	ふるさと宮崎就職相談窓口（東京）	農	林	漁	定	求	03 (5212) 9007	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階 宮崎県東京事務所内
	ふるさと宮崎就職相談窓口（大阪）	農			定	求	06 (6345) 7631	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階 宮崎県大阪事務所内
	ふるさと宮崎就職相談窓口（福岡）					求	092 (724) 6234	福岡市中央区天神2-12-1 天神ビル8階
鹿児島県	新規就職相談所・ふるさと人材相談室（東京）	農	林		定	求	03 (5212) 9062	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館12階 鹿児島県東京事務所内
	新規就職相談所・ふるさと人材相談室（大阪）	農			定	求	06 (6341) 5618	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階11号 鹿児島県大阪事務所内
	鹿児島県新規就職相談所（福岡）	農				求	092 (441) 2852	福岡市博多区博多駅中央街8-36 博多ビル8階 鹿児島県福岡事務所内



●新規就業希望者の相談窓口

全国新規就農相談センター
〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8
中央労働基準協会ビル2階 全国農業会議所内
TEL : 03 (6910) 1133 (相談用)
<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

都道府県新規就農相談センター

都道府県青年農業者等育成センター	電話番号	都道府県農業会議	電話番号
(公財) 北海道農業公社 北海道農業担い手育成センター	011 (271) 2255	北海道農業会議	011 (281) 6761 (直)
(公社) あおもり農林業支援センター	017 (773) 3131	青森県農業会議	017 (774) 8580 (直)
(公社) 岩手県農業公社	019 (623) 9390	岩手県農業会議	019 (622) 5825 (直)
(公社) みやぎ農業振興公社	022 (275) 9192	宮城県農業会議	022 (275) 9164 (直)
(公社) 秋田県農業公社	018 (893) 6212	秋田県農業会議	018 (860) 3540 (直)
(公財) やまがた農業支援センター	023 (641) 1117	山形県農業会議	023 (622) 8716 (直)
(公財) 福島県農業振興公社	024 (521) 9848	福島県農業会議	024 (524) 1201 (直)
(公社) 茨城県農林振興公社	029 (239) 7131	茨城県農業会議	029 (301) 1236 (直)
(公財) 栃木県農業振興公社	028 (648) 9511	栃木県農業会議	028 (648) 7270 (直)
(公財) 群馬県農業公社	027 (251) 1220	群馬県農業会議	027 (280) 6171 (直)
(公社) 埼玉県農林公社	048 (558) 3555	埼玉県農業会議	048 (829) 3481 (直)
(公社) 千葉県園芸協会	043 (223) 3008	千葉県農業会議	043 (222) 1703 (直)
(公財) 東京都農林水産振興財団	042 (528) 1357	東京都農業会議	042 (525) 0780 (直)
神奈川県立かながわ農業アカデミー ※1	046 (238) 5274	神奈川県農業会議	045 (201) 0895 (直)
(公財) 山梨県農業振興公社	055 (223) 5747	山梨県農業会議	055 (228) 6811 (直)
(一社) 岐阜県農畜産公社	058 (276) 4601	岐阜県農業会議	058 (268) 2527 (直)
(公社) 静岡県農業振興公社	054 (250) 8991	静岡県農業会議	054 (255) 7934 (直)
(公財) 愛知県農業振興基金	052 (951) 3626	愛知県農業会議	052 (962) 2841 (直)
(公財) 三重県農林水産支援センター	059 (848) 1226	三重県農業会議	059 (213) 2022 (代)
(公社) 新潟県農林公社 青年農業者等育成センター	025 (281) 3480	新潟県農業会議	025 (223) 2186 (直)
(公社) 富山県農林水産公社	076 (441) 7396	富山県農業会議	076 (441) 8961 (直)
(公財) いしかわ農業者人材機構	076 (225) 7621	石川県農業会議	076 (240) 0540 (直)
(公社) ふくい農林水産支援センター	0776 (21) 8311	福井県農業会議	0776 (21) 8234 (直)
(公社) 長野県農業担い手育成基金	026 (231) 6222	長野県農業会議	026 (234) 6871 (直)
(公財) 滋賀県農林漁業担い手育成基金	077 (523) 5505	滋賀県農業会議	077 (523) 2439 (直)
(公社) 京都府農業総合支援センター	075 (417) 6847	京都府農業会議	075 (441) 3660 (直)
大阪府都市農業参入サポート窓口※1	06 (6210) 9596	大阪府農業会議	06 (6941) 2701 (直)
(公社) 兵庫みどり公社	078 (361) 8116	兵庫県農業会議(ひょうご就農支援センター)	078 (391) 1222 (直)
(公財) なら担い手・農地サポートセンター	0744 (21) 5020	奈良県農業会議	0742 (22) 1101 (代)
(公財) 和歌山県農業公社	073 (432) 6115	和歌山県農業会議	073 (428) 4165 (直)
(公財) 鳥取県農業農村担い手育成機構	0857 (26) 8349	鳥取県農業会議	0857 (26) 8371 (直)
(公財) しまね農業振興公社	0852 (20) 2870	島根県農業会議	0852 (22) 4471 (直)
(公財) 岡山県農林漁業担い手育成財団	086 (226) 7423	岡山県農業会議	086 (234) 1093 (直)
ひろしましごと館 農業就業相談コーナー ※1	082 (224) 0121 ※2	広島県農業会議	082 (545) 4146 (直)
(公財) やまぐち農林振興公社	083 (924) 8100	山口県農業会議	083 (923) 2102 (直)
(公財) 徳島県農業開発公社	088 (621) 3083	徳島県農業会議	088 (678) 5611 (直)
(公財) 香川県農地機構	087 (831) 3211	香川県農業会議	087 (812) 0810 (直)
(公財) えひめ農林漁業振興機構	089 (945) 1542	愛媛県農業会議	089 (943) 2800 (直)
(公財) 高知県農業公社	088 (823) 8618	高知県農業会議	088 (824) 8555 (直)
(公財) 福岡県農業振興推進機構	092 (716) 8355	福岡県農業会議	092 (711) 5070 (直)
(公社) 佐賀県農業公社	0952 (26) 9503	佐賀県農業会議	0952 (20) 1810 (直)
(公財) 長崎県農林水産担い手育成基金	0957 (25) 0031	長崎県農業会議	095 (822) 9647 (直)
(公財) 熊本県農業公社	096 (213) 1234	熊本県農業会議	096 (384) 3333 (直)
(公社) 大分県農業農村振興公社	097 (535) 0400	大分県農業会議	097 (532) 4385 (直)
(公社) 宮崎県農業振興公社	0985 (51) 2011	宮崎県農業会議	0985 (73) 9211 (直)
(公社) 鹿児島県農業・農村振興協会	099 (213) 7223	鹿児島県農業会議	099 (286) 5815 (直)
(公財) 沖縄県農業振興公社	098 (882) 6801	沖縄県農業会議	098 (889) 6027 (直)

※1 指定法人ではありませんが、就農相談を行っています。※2 平日10:00～17:30

漁業

●新規就業希望者の相談窓口

一般社団法人 全国漁業就業者確保育成センター
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13
三会堂ビル
TEL : 03 (5545) 1617
<http://www.ryoushi.jp/>

林業

●新規就業希望者の相談窓口

林業労働力確保支援全国センター
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12
コープビル 全国森林組合連合会内
TEL : 03 (3294) 9713
<http://www.nw-mori.or.jp/>

●沖合・遠洋漁業

(一社) 全国漁業就業者確保育成センター	03 (5545) 1617
----------------------	----------------

●沿岸漁業

地域	事業実施主体	電話番号	
北海道	北海道漁業就業支援協議会	011 (280) 3007	
東北	青森県漁業協同組合連合会	017 (722) 4218	
	岩手県漁業協同組合連合会	019 (626) 8082	
	秋田県漁業協同組合	018 (845) 1311	
	山形県漁業協同組合	0234 (24) 5612	
	関東	千葉県地域漁業担い手確保・育成支援協議会	043 (242) 6858
	東京都漁業協同組合連合会	03 (3458) 4161	
	神奈川県漁業協同組合連合会	045 (773) 6777	
	北陸	新潟県漁業協同組合連合会	025 (243) 3681
	富山県地域漁業担い手確保・育成支援協議会	076 (431) 9595	
	石川県漁業協同組合	076 (234) 8818	
	福井県漁業協同組合連合会	0776 (24) 1203	
中部	静岡県漁業協同組合連合会	054 (254) 6011	
	愛知県漁業担い手確保・育成支援協議会	052 (971) 3501	
	三重県漁業協同組合連合会	059 (228) 1205	
近畿	大阪府漁業協同組合連合会	072 (422) 4763	
	京都府漁業協同組合	0773 (77) 2202	
	和歌山県漁業協同組合連合会	073 (431) 5101	
	兵庫県漁業協同組合連合会	078 (940) 8013	
	中国	鳥取県漁業協同組合	0857 (28) 0111
	漁業協同組合 JF しまね	0852 (21) 0001	
	島根県漁業担い手確保・育成支援協議会	08514 (2) 1832	
	広島県漁業協同組合連合会	082 (278) 5588	
	山口県漁業協同組合	083 (231) 2212	
四国	徳島県漁業協同組合連合会	088 (636) 0513	
	香川県漁業協同組合連合会	087 (825) 0351	
	えひめ漁業担い手確保促進協議会	089 (933) 5127	
九州	高知県漁業協同組合	088 (854) 3600	
	福岡県漁業協同組合連合会	092 (713) 1162	
	佐賀県漁業就業者支援協議会	0955 (72) 2565	
	長崎県漁業協同組合連合会	095 (829) 2413	
	大分県漁業協同組合	097 (532) 6611	
	宮崎県漁業協同組合連合会	0985 (28) 6111	
	鹿児島県漁業協同組合連合会	099 (813) 0026	
沖縄県漁業者確保・育成支援協議会	098 (860) 2600		

●地域の林業について情報を集める

都道府県	都道府県林業労働力確保支援センター等	電話番号
北海道	北海道森林整備担い手支援センター	011 (200) 1381
青森県	青森県林業労働力確保支援センター	017 (732) 5288
岩手県	岩手県林業労働力確保支援センター	019 (653) 0306
宮城県	宮城県林業労働力確保支援センター	022 (217) 4307
秋田県	秋田県林業労働力確保支援センター	018 (864) 0161
山形県	山形県林業労働力確保支援センター	023 (688) 6633
福島県	福島県林業労働力確保支援センター	024 (521) 3270
茨城県	茨城県林業労働力確保支援センター	029 (225) 5949
栃木県	栃木県林業労働力確保支援センター	028 (624) 3710
群馬県	群馬県林業労働力確保支援センター	027 (212) 6295
埼玉県	埼玉県林業労働力確保支援センター	0494 (25) 0291
千葉県	千葉県林業労働力確保支援センター	0438 (60) 1521
東京都	東京都林業労働力確保支援センター	042 (528) 0643
新潟県	新潟県林業労働力確保支援センター	025 (285) 7711
富山県	富山県林業労働力確保支援センター	076 (441) 6747
石川県	石川県林業労働力確保支援センター	076 (237) 0121
福井県	福井県森林整備支援センター	0776 (38) 0345
山梨県	山梨県林業労働センター	055 (242) 6667
長野県	長野県林業労働力確保支援センター	026 (225) 6080
岐阜県	岐阜県林業労働力確保支援センター	0575 (33) 4011
静岡県	静岡県林業労働力確保支援センター	054 (255) 4485
愛知県	愛知県林業労働力確保支援センター	052 (953) 3608
三重県	三重県林業労働力確保支援センター	0598 (48) 1226
滋賀県	滋賀県林業労働力確保支援センター	077 (522) 0307
京都府	京都府林業労働力確保支援センター	075 (821) 9277
大阪府	大阪府林業労働力確保支援センター	06 (6538) 7524
兵庫県	兵庫県林業労働力確保支援センター	078 (361) 8010
奈良県	奈良県林業労働力確保支援センター	0742 (27) 4860
和歌山県	わかやま林業労働力確保支援センター	0739 (83) 2022
鳥取県	鳥取県林業労働力確保支援センター	0857 (28) 0123
島根県	島根県林業労働力確保支援センター	0852 (32) 0253
岡山県	岡山県林業労働力確保支援センター	086 (225) 9382
広島県	広島県林業労働力確保支援センター	082 (541) 6187
山口県	山口県森林整備支援センター	083 (932) 5286
徳島県	徳島県林業労働力確保支援センター	088 (622) 8158
香川県	香川県林業労働力確保支援センター	087 (861) 4353
愛媛県	愛媛県林業労働力確保支援センター	089 (934) 6153
高知県	高知県林業労働力確保支援センター	0887 (57) 0366
福岡県	福岡県林業労働力確保支援センター	092 (732) 5450
佐賀県	佐賀県林業労働力確保支援センター	0952 (25) 7133
長崎県	長崎県林業労働力確保支援センター	0957 (25) 0184
熊本県	熊本県林業労働力確保支援センター	096 (340) 1151
大分県	大分県林業労働力確保支援センター	097 (546) 3009
宮崎県	宮崎県林業労働力確保支援センター	0985 (29) 6008
鹿児島県	鹿児島県林業労働力確保支援センター	0995 (54) 3131
沖縄県	沖縄県林業労働力確保支援センター	098 (987) 1804

新規就農者を 『青年等就農資金』が応援！ 各地に資金の利用が広がる

日本政策金融公庫（農林水産事業）が取り扱う、新規就農者を倍増させるという政府の掲げた目標に資する政策性の高い『青年等就農資金』制度。その利用者に活用状況などを聞いた。

活用事例

旅行業界から 農業女子に転身

愛知県瀬戸市 住^す珠^ま紀^きさん

「本当にやりたいことを生涯かけてやりたい」と、旅行業界から転身。農業大学校等で就学し、非農家出身ながら平成24年に就農した住さん。

地元生産者との交流や農水省の農業女子プロジェクトなどへの参加で生産技術を蓄積し販路を確保。3年の準備期間を経て、施設野菜への事業拡大や生産性向上を計画した。ビニールハウスの建設



やトラクター等の農業用機械取得に必要な設備資金として青年等就農資金を活用した。資金利用の決め手は担保の負担が少なかったこと。借入に必要な書類や資金計画は県の農業改良普及課や市と協力して作成した。ハウスでようやく実ったトマトの出荷作業に励みながら、「おいしい野菜づくりを追求していきたい」と、住さんは今後の抱負を語った。

活用事例

夫婦二人三脚で 酪農経営に挑戦

富山県高岡市 青^あ沼^き光^あさん
住^あ奈^きさん



「中学生の時、テレビを見て酪農に興味を持ったのがきっかけ」と話すのは青沼光さん。農業高校、大学で農学部を卒業後、県内外の牧場に仕事し酪農経営のノウハウを習得。妻の住奈さんも県内の牧場で6年間従事した。酪農家を紹介され、設備等をすべて引き受けて独立することを決意した。

初期投資が多い酪農経営を始めるため、青沼さんは資金繰りに奔走。牛舎や機械の取得等に必要設備資金、乳牛の導入等に必要長期運転資金として、返済期間や据置期間、金利面で経営負担の少ない青年等就農資金の融資を取り付けた。青沼さんは「酪農の魅力を色々な人に伝えることができる酪農経営者になりたい」と目を細めた。

青年等就農資金のご案内

ご利用いただける方	認定新規就農者（市町村から青年等就農計画の認定を受けた方）
資金の使いみち	施設、機械の取得等（農地の取得は除く） 長期運転資金
融資限度額	3,700万円
ご返済期間	12年以内（うち据置期間5年以内）
金利	無利子
担保	原則、融資対象物件のみ
保証人	原則、個人の場合は不要、法人の場合に必要な場合は代表者のみ

お問い合わせ

詳しくは、以下のフリーダイヤル、またはお近くの日本公庫の各支店（農林水産事業）にお気軽にご相談ください。なお、審査の結果によりご希望に沿えない場合がございます。